

会員同士の交流の場『色いろサロン』の開催

本色彩情報誌「Color Circle」で取り上げたトピックについて、会員同士でじっくりとらんに思いの丈を話し合える場が『色いろサロン』です。今年度から新たに設けた取り組みです。

この『色いろサロン』の開催背景は、先般行いました会員アンケートで得られた「会員同士の交流がない」とのご指摘を受けたものです。会員の方々が日々感じていることや情報交換を行える場となり得るように、そして少しでも日々の活動をブラッシュアップする場となれるようにと思っている次第です。

9月30日に行いました第1回『色いろサロン』では、40名を超える会員の方々にご参加いただき、活発なご意見交換がなされました。これまでの研究会の在り方を再考する良い事例になったと思いますし、双方向型の情報交換の重要性をひしひしと感じ得られた有益な会だったと思います。今後もColor Circleと『色いろサロン』の抱き合わせで進めていきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<参加者からのご意見>

『お話が楽しくてあっという間の1時間半でした。聞くだけでなく、質問に答えるなど自分も参加できたことでより集中して聞くことができたと感じました。貴重なお時間をありがとうございました。』

『色による工夫によって雰囲気や臨場感を伝え、画像のはずなのに美味しそうな匂いを感じてしまうような表現をしているという話がとても面白かった。日常生活で色がどのような意図で使われているのか気になった。』

第2回『色いろサロン』の開催は12月23日(金)20:00から1時間を予定しております。詳細は本号最終ページをご覧ください。たくさんのご参加、お待ちしております。



佐々木三公子さん



明星守さん



サゴイシオリさん



参加者の皆さん
※プライバシー保護のため加工しています。

今回のトピック 子どもと色、教育と色 —学校教育の内・外からのアプローチ—

今回は子どもを対象にした色彩教育について、絵画造形教室主催の吉本恵美麻さんと、小学校で図画工作を教えていらっしゃる竹内とも子さんに、現場で実践されていることや感じることを執筆していただきました。

色は子どもたちを喜びで満たしてくれる

吉本 恵美麻

アトリエの中で子どもたちは、画家になり、作家や職人になり、研究者のようになり、時々に変身しながら脳味噌をフル回転させています。真っ白な画用紙やキャンバスに向かって、思い思いにその時間を過ごしていきます。子どもたちは色を混ぜる事が大好きです。「これとこれを混ぜたらどんな色になるのかなあ？」パレットの中は混ざり合っただけで同じ色はなく、一人一人違うパレットになっていきます。同じ物を描いても違う色の入ったパレットです。色も形も思い通りにならない時も、もう一度試してみたい、気に入らなかつたら何度でもやってみたい、実験してみよう、そう声を掛けます。描きたいものを書いて、好きなものを形にして、想いを外に出して、自分を解き放って。色で表したらなんて楽しいんだろう、なんて世界は色とりどりに輝くんだろう。一人一人の今あるまを「色」が受け止めてくれる。子どもたちを知らず知らずに喜びで満たしてくれているのです。



プロフィール
吉本 恵美麻 (ヨシモト エミマ)
福岡県福岡市在住
九州産業大学芸術学部美術学科卒
2012年より子どもを対象にした絵画造形教室 (soyFIELD絵画教室) を開いている。

図画工作科の学習活動における色彩アレこれ

竹内 とも子

小学校の図画工作科は、表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かにかかわる資質・能力を育成することを目指す教科です。その図画工作科で色彩教育をどう行っているかという、直球ど真ん中のお題をいただきました。

絵の具やオイルパステル、版画インクや染料などの「色料の色」は、描画材としてはもちろん、色紙や廃材などの色として工作にも生かしています。透過光や反射光、光の干渉などの「光の色」を扱った造形活動は、児童にとって大変魅力的なようです。その他、素材や自然の中にある色なども含め、色彩のみを取り上げることはほとんど無く、形や材料の特徴と結びつき、イメージを伴って表現や鑑賞の活動を行っています。児童は、絵の具をただパレットで混ぜている時も、「夕焼け色!」「ブルーベリーヨーグルト!」と、自分の経験の色のイメージと結びつけているようです。色彩のイメージや効果を生かして表現や鑑賞活動を行うことで、児童一人一人の色彩にかかわる経験を豊かにしていきたいと考えています。



プロフィール

竹内 とも子 (タケウチ トモコ)

新宿区立柏木小学校 指導教諭 図画工作専科

(←2年生の題材「しんぶんしでへんしん」より)

児童といっしょにつくっています。印刷の赤色の部分を生かして帽子の飾りに、色に着目してつくる児童が現れます。)

会員リレーコラム

「好きな色ありますか？」

「好きな色っていつできるのかな？」4歳の息子を見ていて考えます。彼にはまだ好きな色はなさそうです。私はピンク色、しかも蛍光ピンクのようなバチッとくるピンクが好きです。そのきっかけを考えてみると…小学生の時に出会った、某有名バンドのギターリストの髪の色。初めて目にした時の衝撃は今も忘れられません。さらに記憶を遡るとピンクの駄菓子の色。大好きでした。駄菓子を食べている時、母がとても嫌な顔をしていたのを覚えています。振り返ってみるとピンクは私にとって、非日常的な刺激をくれる色だったのだと思います。

皆さんは好きな色ありますか？いつ、どんなきっかけで好きになりましたか？

茂木 克浩 (モギ カツヒロ)
足利短期大学 講師



2022年度夏期研修会のご報告

本年度も日本色彩教育研究会本部（関東）、近畿、九州にて夏期研修会を実施しました。会員内外からたくさんの方にご参加いただき、ご好評をいただきました。ありがとうございました。

2022年8月9日 近畿色彩教育研究会 『色がつながるⅡ』

- ・ 逆転の発想 密を避けた光の造形遊び～色が変身・色が合体～
講師：服部真也（奈良女子大学付属小学校）
- ・ 色に入る、頭で、からだで。 講師：井上明彦（美術家）

2022年8月24日 九州色彩教育研究会 『色はメッセージ』

- ・ 感じて描く描画表現～臨床美術を体験してみよう～
講師：菅原良子（臨床美術士）
- ・ りんごは何色？ 講師：吉川暢子（香川大学准教授）

2022年8月27日 日本色彩教育研究会本部（関東）『じっくり混色・楽しくPCCS』

- ・ 混色の原理 講師：小林信治（一般財団法人日本色彩研究所）
- ・ 絵の具の混色 講師：岩中佳子（株式会社サクラクレパス）
- ・ PCCSハーモニック・カラーカードで理解する色の世界
講師：桜井輝子（東京カラーズ株式会社）

オンラインセッション 『色いろサロン』のご案内

第1回に続き、Color Circleで取り上げたトピックに関連するオンラインセッション『色いろサロン』を開催いたします。今回はテーマを、『子どもと色、教育と色—学校教育の内・外からのアプローチ』として、執筆者の方々に話題提供をしていただきます。

『色いろサロン』では、登壇者の方々へのご質問はもちろん、参加者同士で意見交換を行い、会員同士の交流ができる場にしていきたいと考えています。

視聴のみのご参加でも大歓迎です。会員の皆様、並びに本研究会にご関心のある方々、奮ってご参加ください。

●日時：2022年12月23日（金）20：00～21：00

●方法：ZOOMによるリアルタイム配信

●オンライントークの会の流れ

・Color Circle vol.02のトピック執筆者による発表

吉本恵美麻さん

竹内とも子さん

宮野周さん（司会）

・トピックに関する質疑応答

・参加者全体、またはグループに分かれての意見交換

●参加費：

本研究会会員の方・・・無料

一般の方・・・1,000円

非会員のうち、学生で会員の紹介がある場合は無料

参加申込と同時にご入会いただいた場合は無料

●参加費のお振込先：

「郵便振替」「銀行振込」のいずれかよりお願いいたします。

郵便振替：00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込：ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキュウ）店 当座 136277 色彩教育研究会

●お申し込み方法：以下のGoogle フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/13N2keQXFVt6a2gm9>

参加申込・参加費納入期限：2022年12月21日（水）

⇒12月22日（木）にZOOMのURLをお送りいたします。

※12月22日にメールが届かない場合は、恐れ入りますが、

事務局までご連絡をお願いいたします。

★こんなことを聞きたい、質問したい！等のご要望は、ぜひお申込フォームに記載をお願いいたします！

お問い合わせ先：日本色彩教育研究会事務局

ohuchi.hiroko@jcri.jp（大内） または sasaki.mikuko@jcri.jp（佐々木）



日本色彩教育研究会HP <http://shikikyo.jp/index.html>

発行人：茂木一司

製作：Color Circle編集委員会

（島田由紀子、手塚千尋、名取初穂、宮野周、熊谷佳子、大内啓子、佐々木三公子）

